



人入病院

治疗前

治疗后

白血病

# 公的病院薬剤師に聞いてみた！

就職は人生の中でも有数のビッグイベント！だからこそ、選択を後悔しないように慎重に選びたいものです。

公的病院で働く先輩たちは、なぜ今の働き方を選んだのでしょうか。病院薬剤師を選んだ理由から、給与、残業、仕事のやりがいなど、仕事や生活に関するさまざまな質問を実際に富山県で働く公的病院薬剤師にうかがいました。

## Q.1

病院薬剤師という働き方を選んだのはなぜですか？



リアルタイムで患者さんの状態が把握できて、自分が関わることで患者さんをより良い状態にできることができることが嬉しいです。病院のほうがそうした実感を得られる機会が多いと思って、病院を選びました。



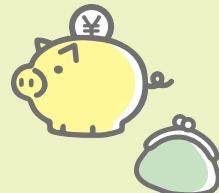
実務実習のとき一番琴線に触れたのは、「入院している患者さんのもとに何回足を運んでも良い」ところでした。他愛ない会話や何気なく質問されたことを、しっかりと覚えたり調べたりしてコミュニケーションをとるなかで信頼関係をつくれることが、私には魅力的でした。



私はなにより「地元に残って貢献したい」という意思が強かったです。その軸で就職先を考えたとき、公的病院ならば間違いなく希望が叶うと思って入職しました。自分が生まれ育った地域に公的病院があったことも、縁があったのだと思っています。

## Q.2

病院薬剤師は年収が低いって本当ですか？



たしかに新卒の時点では薬局薬剤師より年収は低いかもしれません。ですが、給料の上がり幅を考えると、そのうち追いつくイメージですね。勤務時間に目を向けると、薬局で働く同期に比べて明らかにワークライフバランスは取りやすいです。なので、最初の数年間ちょっと給料が低いくらいは許容範囲かなと思っています。



薬局勤務の同期と話した感触だと、新卒時点では月額5万円くらい収入差がありました。しかし昇給率は薬局より大きいようで、そのうち追いつくんだなという感想でした。薬剤師ではない仕事に就いた同窓生に比べれば給与は高かったですし、個人的にはそんなに神経質にならなくても良いと思いますね。



私は病院薬剤師も薬局薬剤師も経験していますが、私の調べた範囲では生涯年収は変わりませんでした。なので、定年まで働く想定ならば給与の差はないと思っています。いまの給料に不満かと言われたらまったく不満はないですね。

## Q.3

1ヶ月あたりの残業時間はどれぐらいですか？



私は5~6時間程度です。  
定時で退勤できる日がほとんどですね。



私も5時間程度です。通常の平日勤務であれば、役職問わず17時に退勤できるイメージです。18時以降まで残っている人はほとんどいないですね。



私は10~20時間程度だと思います。  
定時で帰る日もあれば、30分~1時間程度残業が発生する日もあります。患者さんが増えるシーズンかどうかで変わりますね。



#### Q.4

チーム医療の楽しさや、  
やりがいを感じるのはどんなときですか？



集中治療をしている患者さんの薬を、**薬剤師として薬物動態的に評価・提案して、治療がうまくいったときは嬉しいですね。**

患者さんの状態が刻々と変化する中、ベッドサイドで医師と一緒にディスカッションを重ねて病状が改善したときは、「やった！」と「元気になってくれてありがとう」という気持ちで満たされます。



医師・看護師・臨床検査技師・薬剤師の4人チームで日々活動しています。検査技師が調べた検査の結果を共有して、薬剤師が抗菌薬を見て、看護師は感染対策を行って、医師は治療全般を見る…まさしく**チーム一丸となって動いている実感があると楽しいですね。**医療人として勉強になることもたくさんあります。



私は二次性骨折予防の委員会チームに入っています。**腎機能の評価と薬の提案など、薬の選択に関しては薬剤師に任せられることが多いので、チームに貢献できている実感がありますね。**やはり、専門家として活躍できていると自覚できるとモチベーションが上がります。

#### Q.5

子育てと仕事の両立を考えると、  
病院は働きやすいと思いますか？



最近の薬局は土曜日に営業しているところが多いので、**基本的に土曜日の出勤を覚悟する必要があります。**病院でも土日の出勤はありますが、月1回程度です。そういう意味では、学校行事や子どもとの時間をつくりやすい病院のほうが個人的にはいいかなと思います。



病院は職場にいる薬剤師の人数が多いので、**比較的有休が取りやすい点はメリットでしょう。**また、病院には女性の看護師さんが多いので、子育ての先輩には事欠きません。相談できる相手が多いという点でも、病院に転職が上がるのではないかでしょうか。



私がかつて勤務していた薬局は**小さい店舗だったので、1~2人で回していました。**そうなると、やはり休みを取りづらい雰囲気はありました。その点、病院は小規模でも一定の薬剤師がいるので、休みやすい環境だと思いますね。

#### Q.6

休日はどのように過ごしていますか？



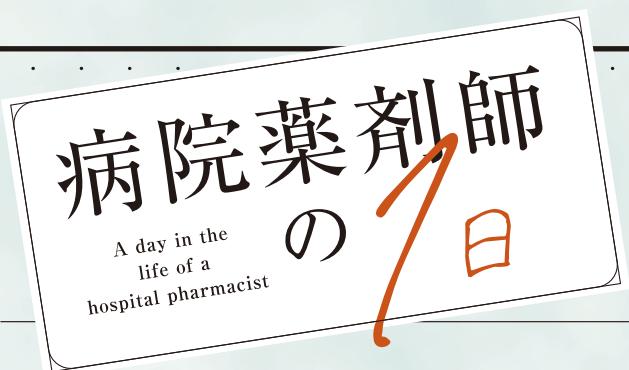
子どもと一緒に料理をしたり、畑で大根を抜いてきてみたりしてリラックスしています。おとぎの森公園に散歩にいったり、冬のシーズンはスキーをしたり、**富山にいえば子どもたちと思い出をつくる場所には困らない**と思います。



旅行が一番のリラックス方法ですね。**リフレッシュ休暇があるので、遠慮なく連休を取ることができます。**昨年は5連休があったので、休みを利用して北海道旅行を満喫しました。



夏はゴルフ、冬はスキーを楽しんでいます。**富山には豊かな自然を活用したアクティビティが充実しています。**日頃の運動不足が解消できますし、心もリラックスできますよ。



病院薬剤師は普段どのようなスケジュールで仕事をしているのでしょうか。  
新人薬剤師と10年目薬剤師  
それぞれの1日に密着しました。

## 新人薬剤師の1日

時間	場所	内容
8:30	薬剤科（調剤室）	カンファレンス、カルテ確認・調剤 先輩と一緒に情報共有後、カルテ確認と調剤をします。入院患者と処方内容が適正か、しっかり鑑査します。
10:15	病棟	多職種カンファレンス、患者指導 10時からは多職種カンファレンス。医師や看護師とともに患者の状況や治療方針について話し合います。
12:00	薬剤科	昼食
13:00	薬剤科注射フロア	院内製剤、注射調剤 午後からは院内製剤の時間。個々の患者に合わせて薬を調製します。
14:00	薬剤科／病棟 ※交代制	調剤／病棟業務 患者指導、スタッフ対応 薬剤師がベッドサイドを訪ねる時間はお昼過ぎになることが多いです。患者さんの体調を伺い、薬の説明を行います。
17:00	薬剤科	申し送り
17:15		終業

## 10年目薬剤師の1日

時間	場所	内容
8:30	薬剤科 包括的がん医療センター	申し送り、抗がん剤カート移動 (包括的がん医療センター内無菌調製室へ)
9:50	病棟	回診同行
9:00	包括的がん医療センター	無菌調製室にて混注、カルテ確認、 ベッドサイドで患者指導 抗がん剤は、無菌調製室で製剤します。正確かつ無菌的な操作をする必要があるため、緊張感をもって業務に臨みます。
13:00		ベッドサイドで直接患者さんの話をうかがう大切さは、ベテランになっても変わりません。
13:00		昼食
14:00	病棟	病棟業務 (薬品管理、持参薬確認、 入院患者面談、カルテ記載) 救急カート薬品管理、スタッフ管理内服薬の確認、くすりに関わる他職種からの確認対応など、病棟での業務は多岐にわたります。
17:00	薬剤科	調剤
18:00		終業

# 富山県における地域連携

昨今では地域包括ケアシステムの名の下、病院・薬局の枠組みを越えた、地域全体の医療・介護・生活支援の視点が医療者に求められています。今回は、富山県魚津市で地域の薬剤師会や医師会と地域連携を推進している、富山労災病院 薬剤部の皆さんに話をうかがいました。

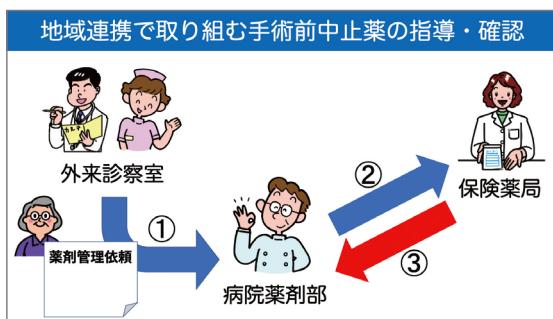


## さまざまな領域で薬薬連携を実施

——富山労災病院では、地域連携(薬薬連携)を取り組んでいるとうかがいました

富山労災病院では、主にがんや糖尿病の薬物療法、手術前の中止薬確認、入退院時の情報提供書の作成について保険薬局の薬剤師と薬薬連携を行っています。

たとえば手術前の中止薬の確認では、病院薬剤師のみでなく薬局薬剤師と共にダブルチェックを行っています。患者さん一人ひとりの服薬状況について詳しい薬局薬剤師の確認が入ることで、中止薬の見落としが起きにくい体制が整っています。



——具体的に地域連携の成果が現れた取り組みはありますか

例を挙げるとしたらポリファーマシー対策です。当院では以前より保険薬局とお互いに入院時・退院時情報提供書を送付していました。そこに現在は、入院中にポリファーマシー対策を実施した

患者を中心に、退院後の状況のフィードバックとして返書を送付していただいている。月当たり平均10件程度の返書が届いており、減薬の継続につながっていると実感しています。病院薬剤師はこれを見て、自分たちの行った調整の計画がどうであったかを評価し、次回の調整に活かすことが出来ると考えています。

——処方変更には医師の判断が必要ですが、医師側の反応はいかがでしたか

ポリファーマシー対策は院内全体で進めてきましたが、反対意見や摩擦を感じることはありませんでした。むしろポリファーマシー対策の認識が広がったことで、これまで以上に減薬の認識を持ちながら診療を行っていただけるようになりました。薬の変更がスムーズに行える組織になっている実感があります。

## 薬剤師の役割を広げて地域医療に貢献

——地域連携に関する取り組みのやりがいを教えてください

ポリファーマシー対策については症例検討会で多くの医師から評価をいただきました。私たちの取り組みが院内だけでなく、地域医療に貢献している自覚をもつことは、大きなやりがいを感じます。

——地域連携に関する今後の展望を教えてください

これまでの地域連携の取り組みを通して、薬局・病院問わず地域全体の“薬剤師力”が上がっている手応えがあります。今後は、心不全など他の疾患についても薬剤師が介入して、役割を広げていきたいです。

また感染症診療の領域では、抗菌薬適正使用、特に経口抗菌薬や外来の抗菌薬使用は、地域全体の未解決課題のひとつです。地域連携の取り組みを進める中で築かれてきた、魚津地域の医師や薬剤師との「顔の見える関係」を大切にしながら、今後も薬剤師としてできることを模索していきたいです。



# 能登半島地震、災害医療現場での薬剤師

2024年元旦、石川県能登地方で最大震度7を観測する地震が発生し、富山赤十字病院では、震災発生後速やかに救護班を編成し能登の災害現場での災害救護活動が行われました。その救護班の中には、病院薬剤師の姿もありました。



## 薬剤師と主事の兼務、運転から書類作成まで

——災害時における病院薬剤師の仕事について教えてください

来院した患者さんに薬を提供したり、医薬品卸と連携をとって必要な薬をもらえるように手配をしたりします。非常時ゆえにおくすり手帳をもっていない患者さんが多いため、普段飲んでいる薬を把握したり、当院ではどんな薬が代わりになるのか医師に提案したりすることも役割のひとつです。



——今回、先の能登半島地震で富山赤十字病院の薬剤師が果たした役割を教えてください

今回の災害派遣は、薬剤師の仕事を果たしつつ、主事の仕事も任されていました。ですので、患者さんの服薬指導をはじめとした薬剤師の仕事以外にも、能登までの車の運転や、救護所の設営、本部や支部との連絡、各種書類作成などを担いました。

——本当に元旦早々から大変なことばかりだったかと思います

富山県から石川県に向かう道が限られているため、渋滞が起きていたり、道路の整備が追いついていなかったり、交通面では悩まされることが多かったです。また、特殊なケースではありますが、本来2人で担当する主事業務を薬剤師1人で対応しなくてはならないタイミングがありました。そのときは、被災者の方の顔を見る時間がないほど忙しかったです。

## 被災者の「ありがとう」が支えに

——実際に被災者の方々を支援して、やりがいを感じたようなエピソードはありますか

やはりお薬を渡したときに、「ありがとう」と言われるその一つだけでここに来て良かったと思います。また、DMATの救護服を見て「DMATが来てくれた」と安心していただけることもありました。これまでさまざまな被災現場で活躍してきた先達の思いを受け継ぎ、自身も救護班として被災地に行ったこと、それ自体に意味があったのだと思いました。

——災害医療のやりがいを、学生さん向けに教えていただけますか

富山県は比較的災害が少ない地域と言われています。しかし実際に隣県に災害救護を行ったことで、災害医療の勉強をすることは重要で、決して他人事ではないなど痛感しました。いつ大きな災害が起こるかわからないからこそ、日頃から災害に備えることが大切です。災害医療に興味をもち、いざというときに被災者の方々に貢献できる薬剤師が増えてくれたらうれしいですね。



# 意外と知らない! 富山の「実は…」

実は…

1

## 日本中どこにでも行きやすい!

日本のほぼ真ん中にあるため、東西問わず時間で旅行できます！



東京	大阪	名古屋
4時間50分	4時間15分	3時間



東京	大阪	名古屋
2時間5分	2時間30分	2時間58分



東京	札幌
60分	1時間30分



大阪、東京どちらのライブに当選しても、旅行プランが立てやすい。



東京から富山に転勤したけど、帰省は楽です！

実は…

2

## 今年から見られる美景が！

海も山も雄大な自然を感じられる富山県。2024年から新たに、黒部峡谷と立山黒部アルペンルートを結ぶ「黒部宇奈月キャニオンルート」が一般開放予定です！



黒部ダム

雨晴海岸から望む立山連峰



ダム好きというわけではないけど、黒部ダムの迫力には圧倒されました。



雨晴海岸が大好きです！海岸から望む立山連峰は本当にいつ見てもキレイ！

実は…

3

## 魚以外にも美食がたくさん！

白エビや紅ガニ、寒ブリで有名な富山県ですが、実は山の幸も負けず劣らず魅力的！



富山のお米の美味しさはもっと世に広まるべき。日本酒もうまい！



冬のブリは最高。あとは梨、りんご、桃などフルーツもなんでも美味しい！

実は…

4

## 住みやすさは日本有数！

実は富山県民は持ち家率、家の広さが全国トップクラス！一方で犯罪件数は非常に低いという、富山県は日本でも有数の“暮らしやすい県”なのです。



住宅あたりの延べ床面積

全国 **1位**



持ち家率

全国 **2位**



重要犯罪発生件数の低さ

全国 **4位**



今アパート暮らしですが、東京に比べたら同じ家賃で明らかに広いです。



富山は土地が安いので、若い人でもマイホームをもつ人が多いですね！

富山県

# 公的病院一覧

富山県の公的病院 24施設を掲載しています。  
病院の特徴や規模から、  
自分に合った病院を見つけましょう。  
募集情報や詳細情報は、  
QRコードから各病院のサイトにアクセスして  
ご確認ください。

※各病院の情報は2024年3月時点



独立行政法人労働者健康安全機構

## 富山労災病院

急性期

〒937-0042 魚津市六郎丸992

「笑顔いっぱい薬剤部～安心・安全・信頼の薬剤部作りは、自身の心と身体の健康から～」をスローガンに、薬剤部業務に取り組んでいます。また魚津市唯一の公的病院として、地域の保険薬局等との薬薬連携に力を入れています。



病床 300床 | 薬剤師数 9人



朝日町

## あさひ総合病院

急性期 回復期

〒939-0741 下新川郡朝日町泊477番地

急性期から在宅まで、地域医療を支える中核病院として、高齢者医療の先進モデルとなる病院を目指しています。当院薬剤科は、小規模病院ながらもチーム医療をはじめ様々な業務に関わっており、医師や他職種との距離も近く、いつでも話ができる職場です。



病床 109床 | 薬剤師数 5人



富山県

## 富山県立中央病院

高度急性期

〒930-0975 富山市西長江2丁目2番78号

県内唯一の県立総合病院として、がんや高度急性期医療などの専門的・先進的な医療を提供しています。薬剤師は多くのチーム医療に参画しています。多くの疾患と最新の治療を経験でき、各種認定・専門薬剤師の取得にサポートもあり、スキルアップが図れます。



病床 733床 | 薬剤師数 28人



黒部市

## 黒部市民病院

急性期

〒938-8502 黒部市三日市1108-1

救急・周産期・小児・がん診療、地域災害医療センター・感染症指定病院・腎センターなど地域医療の重要機能を担い、新川医療圏の医療を支えています。薬剤師はチーム医療の一員として専門性を活かし、患者さんに最適な医療提供ができるよう支援しています。



病床 414床 | 薬剤師数 18人



富山市

## 富山市立富山まちなか病院

回復期

〒930-0086 富山市鹿島町二丁目2番29号

富山市街地の中心部に位置する公立病院です。市民生活に必要な診療（内科・外科・整形外科・眼科・婦人科・健診・救急）と、2020年8月からは富山医療圏で不足している在宅復帰支援を行う地域包括ケア病床を提供しています。



病床 50床 | 薬剤師数 4人



日本赤十字社

## 富山赤十字病院

急性期

〒930-0859 富山市牛島本町2-1-58

「赤十字」といえば「災害救護」の印象が強いですが、実際は急性期医療から訪問看護まで多くの役割を担っています。薬剤師は特に病棟業務が充実しており、「自ら考え積極的に行動する薬剤師」として専門性を生かして活躍しています。



病床 401床 | 薬剤師数 21人



**社会福祉法人恩賜財団済生会**

**富山県済生会富山病院**

急性期

〒931-8442 富山市楠木33-1

済生会富山病院は、富山市北部地区の医療の中心となる病院です。“目に見える薬剤師”をモットーに病棟や院内各部門においてチーム医療の一員として薬剤師業務を行い、患者さんのベッドサイドに足を運び、きめ細やかな患者対応、服薬説明を行っています。



病床 **250床** | 薬剤師数 **13人**



**富山市**

**富山市立富山市民病院**

急性期

〒939-8511 富山市今泉北部町2番地1

当院薬剤部は「調剤係」「がん化学療法係」「病棟薬剤指導係」「医薬品情報係」の4つの係から成り、様々な業務を分担しています。人材育成が大事なテーマであり、実習生や新人薬剤師、若手薬剤師にもいろいろな活動に関わってもらっています。



病床 **545床** | 薬剤師数 **30人**



**独立行政法人国立病院機構**

**富山病院**

慢性期

〒939-2607 富山市婦中町新町3145番地

1938年の開院以降、富山県の結核医療を担ってきました。現在は結核病棟に加え、170床の重症心身障害者病棟、神経難病等の重症者病棟、小児精神医療の病棟があります。在宅重症心身障害者の方のための短期入所事業も30年以上前から続けています。



病床 **285床** | 薬剤師数 **5人**



**上市町**

**かみいち総合病院**

急性期 回復期

〒930-0391 中新川郡上市町法音寺51

地域の医療・福祉・介護・保健分野と連携し、地域住民の健康増進と町づくりに貢献する「地域に開かれた病院」を目指しています。薬剤師を含めた多職種連携による充実したチーム医療を行っており、各種資格の取得にも力を入れています。



病床 **199床** | 薬剤師数 **8人**



**国立大学法人富山大学**

**富山大学附属病院**

高度急性期

〒930-0152 富山市杉谷2630番地

病床 **612床** | 薬剤師数 **49人**

県内唯一の特定機能病院として、先端医療を行うとともに高度急性期機能を担う全病棟に薬剤師が常駐しています。また、県内唯一の薬学教育機関として学生実習や新人研修、各種認定・専門薬剤師の取得など、薬剤師のスキルアップを応援しています。



**富山県**

**富山県リハビリテーション病院・  
こども支援センター**

回復期

〒931-8443 富山市下飯野36番地

病床 **232床** | 薬剤師数 **5人**

一般的なリハビリ病院とは異なり、リハビリテーション科や整形外科はもとより、内科、小児科（神経・整形・精神）、脳神経内科、脳神経外科、歯科の7つの常設科と5つの非常設科を有しています。骨折や脳梗塞だけではなく、様々な疾患を経験できる病院です。



**富山県厚生農業協同組合連合会**

**厚生連滑川病院**

急性期 回復期

〒936-8585 滑川市常盤町119番地

病床 **199床** | 薬剤師数 **6人**

薬剤部は、患者さんの信頼に応えるべく24時間体制で薬の適正使用に努力しています。NST、がん化学療法、緩和医療、感染制御、糖尿病教室などのチームのなかで薬物療法の面から支援しています。また、認定・専門資格の取得にも取り組んでいます。



**高岡市**

**高岡市民病院**

急性期

〒933-0064 高岡市宝町4番1号

病床 **373床** | 薬剤師数 **17人**

高岡市民病院は市内唯一の自治体病院であり、急性期医療と政策医療（精神科疾患、認知症、特殊感染症対策）を中心的役割を担っています。薬剤部は認定薬剤師が多数おり、医療スタッフはもとより地域保険薬局からも信頼を得ていると自負しています。



### 社会福祉法人恩賜財団済生会

## 富山県済生会高岡病院

急性期 回復期

〒933-0816 高岡市二塚387-1

高岡医療圏の中核病院として、二次救命救急輪番病院としての使命を果たす一方で、急性期から地域・在宅医療への橋渡しを行う役割も担っています。入退院支援センターに薬剤師が常駐し、入院前から退院後まで患者さんのシームレスな服薬管理を支援しています。



病床 251床 | 薬剤師数 10人



### 独立行政法人地域医療機能推進機構

## JCHO高岡ふしき病院

急性期 慢性期

〒933-0115 高岡市伏木古府元町8-5

全国にあるJCHO(独立行政法人地域医療機能推進機構)57病院の一つであり、地域の医療機関・介護施設と連携し地域包括ケアの中核を担っています。薬剤師は多職種と緊密に連携をとり、薬物療法を通して積極的に医療に参加しています。



病床 199床 | 薬剤師数 3人



### 氷見市

## 金沢医科大学氷見市民病院

急性期 回復期

〒955-8531 氷見市鞍川1130番地

当院は地域に密着した中核病院で患者を中心の医療を実践することを理念としております。薬剤部では、お薬を通じて地域みんなの健康・笑顔を守り、病院内外の医療スタッフと連携し、地域の医療に貢献できる薬剤師活動の提供を心掛けております。



病床 250床 | 薬剤師数 14人



### 砺波市

## 市立砺波総合病院

急性期

〒939-1343 砧波市新富町1番61号

砺波医療圏の中核病院として地域医療に貢献しています。薬剤科では「地域の医療施設、医療従事者との連携を図り、薬物療法の支援を通して、患者さんにより良い医療サービスを提供する」をモットーに、日々研鑽を重ねています。



病床 471床 | 薬剤師数 16人



### 富山県厚生農業協同組合連合会

## 厚生連高岡病院

高度急性期

〒933-0843 高岡市永楽町5番10号

富山県西部地区で唯一の第3次救急医療機関であり、また地域がん診療拠点病院としてがん診療に力を注いでいます。調剤業務、無菌調製業務、医薬品品質管理業務、病棟業務、医薬品情報(DI)業務と、幅広い業務経験を積むことができます。



病床 497床 | 薬剤師数 30人



### 射水市

## 射水市民病院

急性期 回復期

〒934-0053 射水市朴木20番地

射水市民病院は市内唯一の公的病院であり、地域に密着したケアミックス病院です。小規模であるがゆえ、職員同士の距離がとても近く、多職種連携にもそのことが生かされています。若手薬剤師も増え、病棟業務やチーム医療等で活躍しています。



病床 199床 | 薬剤師数 7人



### 公立学校共済組合

## 北陸中央病院

急性期 回復期 慢性期

〒932-0813 小矢部市野寺123

公立学校共済組合によって設置された直営病院の一つであり、小矢部市唯一の公的病院として市民病院的な役割を担い、病診連携を図り地域医療に貢献しています。薬剤師は病棟で活躍するというコンセプトのもと、若い薬剤師を中心に病棟活動を展開しています。



病床 193床 | 薬剤師数 8人



### 独立行政法人国立病院機構

## 北陸病院

慢性期

〒939-1893 南砺市信末5963番地

北陸地区における国立病院機構の精神・神経領域の基幹施設として、政策医療の対象である精神疾患、神経難病ならびに重症心身障害に関しての専門的な医療を行っています。精神科救急医療や認知症への対応など地域医療に貢献することを目指しています。



病床 272床 | 薬剤師数 3人



南砺市

## 南砺市民病院

急性期 回復期

〒932-0211 南砺市井波938番地



病床 175床 薬剤師数 7人

地域に根差した医療を提供する病院です。救急・急性期から回復期そして在宅医療まで切れ目のない医療を提供し、南砺市の中核病院として役割を担っています。大規模病院ではないからこそ、医師、他職種との距離が近く職員皆と顔の見える関係を築けます。



南砺市

## 公立南砺中央病院

急性期 慢性期

〒939-1724 南砺市梅野2007番地5

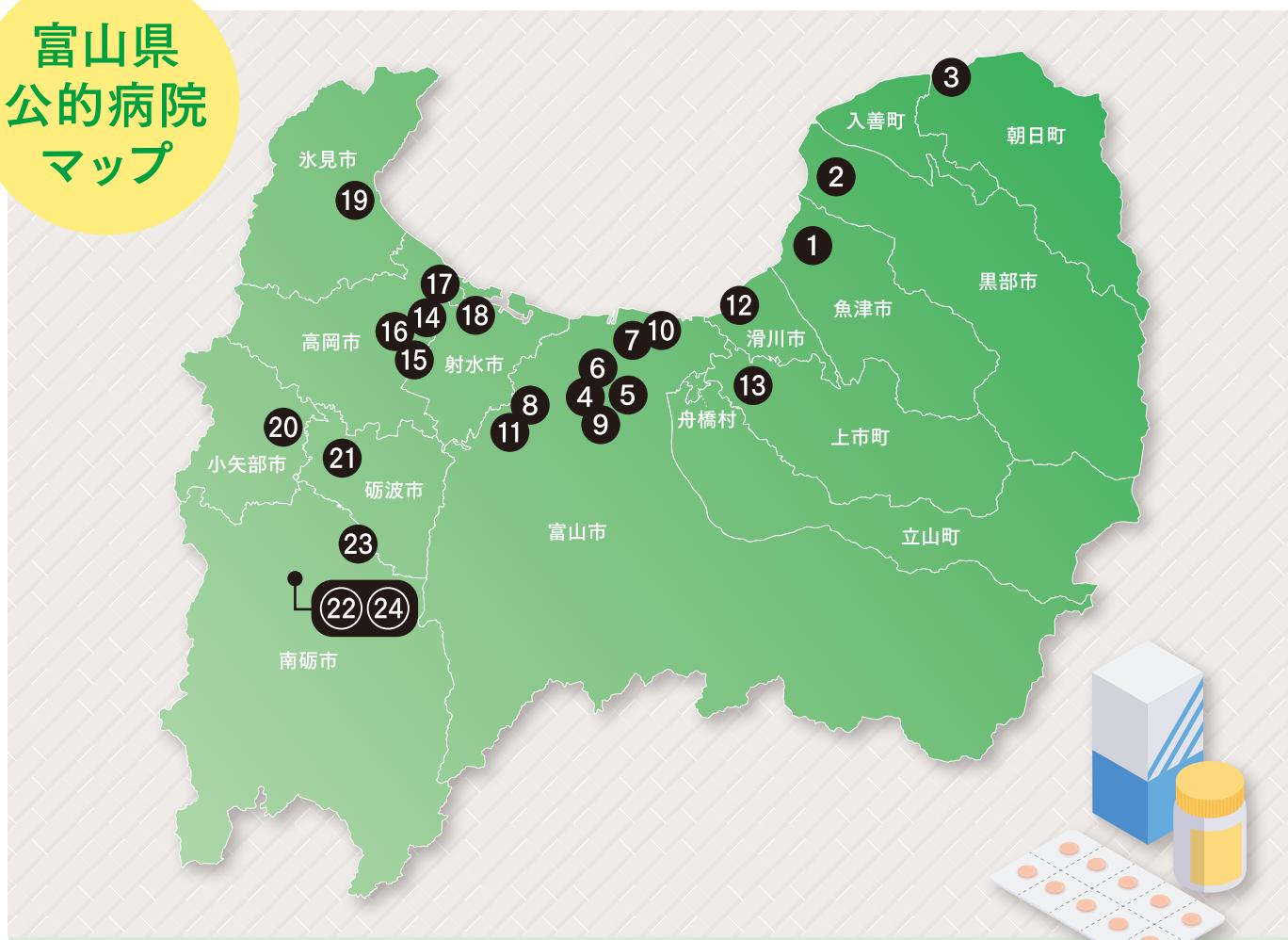


病床 149床 薬剤師数 8人

公立南砺中央病院は急性期から回復期、慢性期までの病床機能を持つケアミックス型病院です。当院薬剤科は、地域保険薬局との薬薬連携を積極的に行っています。チーム医療を通して“くすりの適正使用”を推進し、患者様の診療支援に積極的に取り組みます。



## 富山県公的病院 マップ



- ① 富山労災病院
- ② 黒部市民病院
- ③ あさひ総合病院
- ④ 富山市立富山まちなか病院
- ⑤ 富山県立中央病院
- ⑥ 富山赤十字病院
- ⑦ 富山県済生会富山病院
- ⑧ 富山大学附属病院

- ⑨ 富山市立富山市民病院
- ⑩ 富山県リハビリテーション病院・こども支援センター
- ⑪ 独立行政法人国立病院機構富山病院
- ⑫ 厚生連滑川病院
- ⑬ かみいち総合病院
- ⑭ 高岡市民病院
- ⑮ 富山県済生会高岡病院
- ⑯ 厚生連高岡病院

- ⑰ JCHO高岡ふしき病院
- ⑱ 射水市民病院
- ⑲ 金沢医科大学氷見市民病院
- ⑳ 公立学校共済組合北陸中央病院
- ㉑ 市立砺波総合病院
- ㉒ 独立行政法人国立病院機構北陸病院
- ㉓ 南砺市民病院
- ㉔ 公立南砺中央病院

# 富山県で 病院 薬剤師に なりんけ?

TOYAMA  
HOSPITAL PHARMACIST  
GUIDE BOOK



協力：一般社団法人富山県病院薬剤師会